



ピース!
Peace

Team Shiroyama

Peace 飛び交う、楽しい学校をつくろう!

HP <https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/>

令和 6 年 11 月 1 日

学校だより第 10 号

校長 宮田 幸治

小体会、交歓会、がんばりました!

10月16日(水)に第62回長崎市小学校体育大会が開催されました。子供たちは、練習の成果を発揮し練習開始時の目標達成となったようです。残念ながら表彰に届かなかった種目もありましたが、サッカー男子、サッカー女子、球入れは優勝、陸上の女子50m障害走は第2位、女子100m走は第3位で、現在、職員室入口前に賞状と優勝盾、カップを披露しています。悔しい思いをした子供、思わぬ結果に喜びを爆発させた子供と、いろいろな思いが見て取れましたが、どの子供も小体会の練習から大会当日を通して心が大いに成長したと思います。



10月29日(火)には特別支援学級交歓会も開催されました。学年に応じた短距離走、球入れ、王様じゃんけんに出場しました。ゴールテープを切ったとき、球入れですべての球を入れたとき、最後までじゃんけんを勝ってゴールできたとき…、子供たちの何とも言えない微笑んだ表情を見ることができ、心が温まりました。その表情から子供たちが精いっぱい自分の力を出し切ったことが分かりました。保護者の皆様にも引率や応援など多大なご協力をいただき感謝です。

「チームで動くとは?」ということを体感して学んだことを、今後の大きな成長につなげることができるよう、全職員で子供たちに言葉掛けを行っていきます。

「叱り上手のテクニック」

番外編です。これまで気になる記事をとっておいたものからのご紹介です。

叱る回数が激減する!? 「子供に伝わる」言い換えワード5つ (It Mama H28.1.5)

同じことを毎日叱っているのにも関わらず、子供がちっとも言うことを聞かないことってありますよね。でも、これって子供の問題ではなく、伝える側の言い方が分かりにくいのかもしれませんよ。「こう言えば子供に伝わる! 言い換えワード」についてお伝えします。

● 子供が分かりにくい曖昧フレーズを使わずに…。

なかなか寝ようとしないう子供に対して「いい加減に遊ぶのを止めなさい。早く寝ないとだめでしょ」と叱ることがあります。でも「いい加減」「早く」という言葉自体がとても曖昧な指示です。それよりも次のように伝えた方が分かりやすいです。例えば、プラレールで夢中になっている子供に対しては「あと2周、電車を走らせたらおしまいでしょうね。9時にはベットに入って寝ようね」など。頻繁に使う以下のワードを次のように言い替えてみましょう。

- (1) 「ちゃんとしなさい!」⇒「背中を伸ばして座ろうね」
- (2) 「早くしなさい!」⇒「8時までには食べ終えてね」「3時になったら出掛けるよ」
- (3) 「順番だから待ちなさい!」⇒「プランコは〇〇ちゃんの次だよ」
- (4) 「真面目に!」⇒「お勉強中は笑ったり、隣のお友達と喋ってはダメ」
- (5) 「優しくして!」⇒「友達の顔や身体の特徴をネタにからかってはならないよ。チビ、デブ、ブスと言ってはダメ」

いかがですか。小さい子供に“わかるだろう”と思って大人の感覚で言葉をかけていることがあります。でも、“子供が行動しやすいように具体的に”を心掛けていると叱る回数もきっと激減しますよ。